施工方法が動画でわかる!

壁紙を貼る面の適否

☆本品は現在貼ってある壁紙に重ねて貼れるタイプです。また、本品は古い壁紙をはがして 貼ることもできます。

貼れる下地　○

○:ビニール 壁 紙・古い壁紙をはがした下地
○:天井(※1)
○:石こうボード・ベニヤ (※2)
○:プリント合板・ペンキ(※3)
○:コンクリート・しっくい(※4)

(※1)必ず古い壁紙をはがしてから貼ってください。
2人以上で作業してください。
(※2)ボードやベニヤ板の継ぎ目、ネジ頭は
壁紙用パテで埋める処理をしてください。
(※3)「下地処理シーラー」処理をしてください。
(※4)表面は十分乾燥した状態、凹凸・ひび割れ
は壁紙専用パテで補修し、施工面を平滑
に処理してください。しっくい壁は表面が
粉吹き状態ですと貼れません。
粉を除去してから貼ってください。

貼れない下地　×

×:布製壁紙・汚れ防止等の壁紙・タバコのヤニ汚れや油汚れが付着した壁紙(※1)
×:砂壁・せんい壁
×:タイル・浴室内・金属板
×:水回り(直接水のかかる場所)
×:常に高温多湿なお部屋
×:レンジ付近
×:プラスチック・屋外

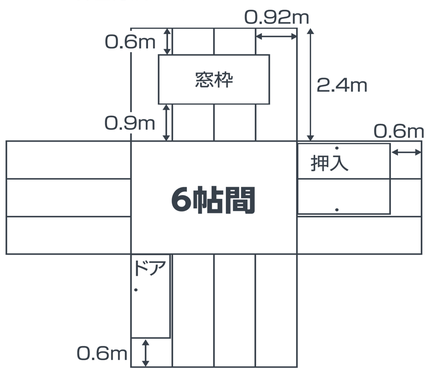
(※1)布製・汚れ防止壁紙、汚れた壁紙を
はがしてください。

◎下地が粗い場合や鴨居、柱廻りに隙間がある場合はパテなどで平らにして隙間を埋めてください。下地が古くもろい場合は施工後、はがれる場合があります。

必要な壁紙の目安量

トイレ	約 15m
4.5 帖	約 25m
6 帖	約 30m
8 帖	約 35m
10 帖	約 40m

※上記の数量には、カットロスを含んでいます。
※必ず実測をし、必要mを計算してください。
下図は平均的な6帖間に必要な壁紙のm数の算出方法です。



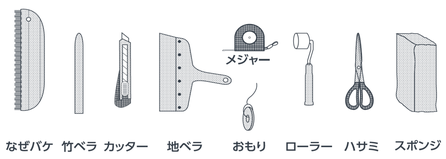
本品の幅92cm幅×貼る面の長さ		
窓枠上部：	92cm幅×0.6m×2枚	1.2m
窓枠下部：	92cm幅×0.9m×2枚	1.8m
ドア上部：	92cm幅×0.6m×1枚	0.6m
押入上部：	92cm幅×0.6m×2枚	1.2m
床から天井まで：	92cm幅×2.4m×9枚	21.6m
	小計	26.4m

各部分ごとにカットロス分+約30m
※カットロスを各サイズに上下で5cmを含めて算出

★壁紙には柄No.以外に製造ロットNo.を表示しています。必要m数分は製造ロットNo.の同じ商品をご購入ください。店頭在庫で同ロットNo.が揃わない場合、必要数分を別注にて承ります。同ロットの追加はできません。

生のり付き壁紙の貼り方

壁紙の道具



貼る前の準備

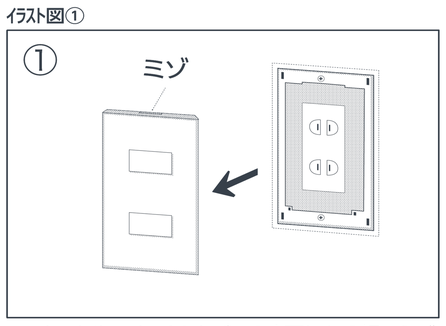
①貼る面の調整

・ボードや合板の継ぎ目、釘、ビス頭等のパテ埋め処理。パテは乾く際、痩せますので追い塗りし、平滑になるよう処理してください。サンドペーパーは(#100番手)程度を使用してください。
・プリント合板、ペンキ下地にはシーラー処理をしてください。塗装面の浮きに注意。

②壁の突起物を取り外す

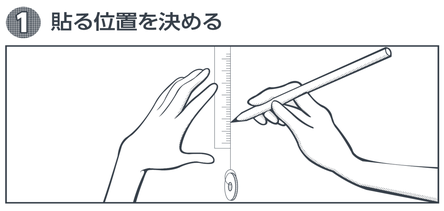
・コンセント・スイッチカバーは取り外してください。(通電を止めてから作業)イラスト図①
・カーテンレールが壁面に直接ビス止めしてある場合は取り外してください。

イラスト図①

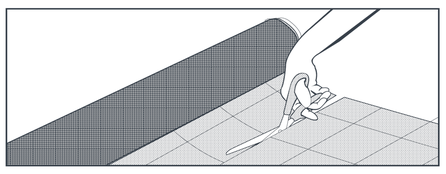


コンセントやスイッチのカバーの上下にある細いミゾにマイナスドライバー等を差し込んではずします。

① 貼る位置を決める

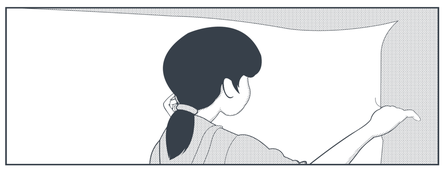


1枚目の壁紙の端がくる位置に、おもりをつけた糸を吊り下げて垂直線を出します。糸に沿って定規を当て鉛筆で垂直線を引きます。

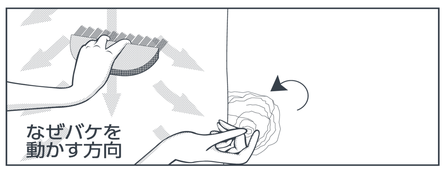


1枚目の壁紙を必要な長さにカットします。このとき上下の切りしろとして約5cmプラスしてカットします。

② 一枚目を貼る

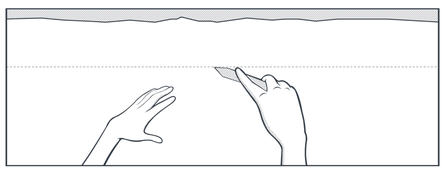


裏の保護フィルムを上から20cmほどはがし、壁面に仮止めします。垂直線に沿うように、フィルムをはがしながら貼っていきます。
残りの保護フィルムを壁紙がはがれないように片手で押さえながら、フィルムに付いたのり面が内になるように巻取ります。(汚れを防ぎます)

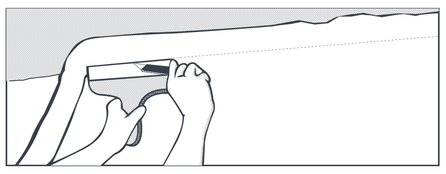


なぜバケで壁紙の中央を上から下に、縦、左斜め、右斜めと図のように空気を追い出しながら貼ります。
● **生のりが乾くまでは何度でも貼り直せますので、空気残りやシワが寄ってもあわてずにその部分まで、はがして貼り直してください。**

③ 余分な壁紙をカットする

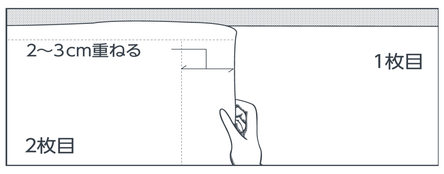


天井側(上側)の余分な壁紙をカットするために、竹ベラで押さえ付けスミを出します。
床側(下側)も同様に行います。

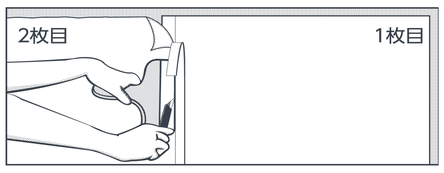


天井と壁の境い目に、地ベラをしっかり当て、カッターで余分な壁紙を切り取ります。
表面についたのりは、水で濡らしたスポンジで拭き取ってください。

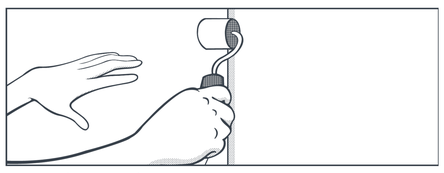
④ 2枚目を貼る



2枚目の壁紙は1枚目の壁紙に2〜3cm重ねて貼ります。反対側のジョイントテープは保護フィルムと共に、はがしておきます。
(図の場合は2枚目の左端のジョイントテープのことです。)



重なり合った部分の中央に地ベラを当て、カッターで2枚一緒に切ります。
カッターを切り口から離さないで地ベラをずらしながら上から下に切ってください。



仕上げに、継ぎ目の部分をローラーで押さえます。
※ジョイントテープは必ず取り除いてください。
ローラー掛けをすることで剥がれにくく、継ぎ目も目立たずきれいに仕上がります。
※ローラーで押さえた時にはみ出たのりは濡らしたスポンジで拭き取ってください。
そのままにすると変色します。

・・・作業工程の ワンポイント アドバイス・・・

押さえた時にはみ出た接着剤は濡らしたスポンジで拭き取ってください。そのままにすると変色します。
最後に壁と天井の境、柱・縁周り、壁と床の境(巾木を付ける場合は必要なし)、梁や壁隅でジョイントした個所は壁紙専用コーキング剤を充填して隙間を埋めてください。

スポンジに水を含ませ、湿った状態で充填したコーキング剤の上をなぞる様に押さえると継ぎ目が目立ち難く仕上げることができます。

壁紙施工時のご注意

☆本品は建築基準法「JIS規格」・「大臣認定」を受けた規制対象外の材料F☆☆☆☆取得品です。
○本品に使用の壁紙・接着剤は、ノンホルマリンですが、各種要因の「シックハウス症候群」を完全に防止するものではありません。
○本品に使用しております壁紙及び接着剤は「防カビ」タイプです。カビ発生を止める効果ではなく、発生を抑制する作用です。
すでにカビが発生している場合、カビを完全に除去する必要があります。完全に取り除き、下地を十分乾燥させてからお貼りください。
○作業中は十分な換気をお願いいたします。本品の壁紙は塩化ビニール製です。塩化ビニールの臭いがする場合がございますので、換気を必ず行ってください。施工完了後も2〜3週間程度はお部屋・廊下等の換気をお願いいたします。
○施工時、柱周りや縁に付着した接着剤はスポンジに水を含ませ、接着剤が固まる前にきれいに拭き取りしてください。その際、手や素肌に付着した場合、石鹸で水洗いをしてください。万一、目や口に接着剤が入った場合、きれいな水で十分洗い流し、場合に応じて医師の診察を受けてください。

その他の注意点とお願い

● 本品は「生のり加工」をしておりますので、開封後はできるだけお早めにご使用ください。
● 貼り残した壁紙は、本品が入っていた袋もしくは 密閉ができるポリ袋等に入れ、空気に触れな い様封をして冷暗所で保存してください。接着剤が乾きますと、水・ノリを付けても再使用はできません。
密閉状態で 約1ヶ月程度保存可能ですがお早目にご使用ください。
● 本品は「生のり加工」をしております。寸法切りの際、カットラインを油性ペン等で線をひいて切りますと、まれに切り口の水分にペンのインクが滲み出て、他の部分を汚す場合があります。切り置きには十分ご注意をお願いします。

品 質 表 示

材 質：塩化ビニル系壁紙
接着剤：壁紙専用接着剤(でんぷん系)
ノンホルマリン・防カビ剤
保護フィルム：ポリプロピレン

建築基準法適合壁紙

F☆☆☆☆

国土交通大臣認定番号　MFN-2779

F☆☆☆☆とは、建築基準法で定めたホルムアルデヒドの発散量が最も少ない区分で居室内に無制限に使えることを表します。

株式会社 コメリ
〒950-1492　新潟県新潟市南区清水4501-1
Tel.025-371-4805　Made in Japan

外箱　内装フィルム